

## 別記様式（第5関係）

## 会 議 録

会議の名称	第21回スポーツ振興審議会
開催日時	15年3月17日(月)19時00分から21時00分まで
開催場所	教育委員会3階会議室
出席者	(出席委員) 渡邊会長、松島副会長、伊藤委員、鶴田委員、高橋委員、能智委員、蒲谷委員(事務局) 富所課長、新井主査、神田社会教育主事(欠席委員)、内田委員、指田委員、柴山委員、
議 題	西東京市スポーツ振興の策定について 1. スポーツ振興計画の基本的な考え方 はじめに 第1章 スポーツ振興の意義 第2章 スポーツ振興行政の現状と課題 2. その他 西東京市スポーツ振興事業補助金交付について
会議資料	事前配布資料 資料18 表題「西東京市スポーツ振興計画の策定について」 副題 スポーツで心がふれあうまちをめざしてー 資料19 平成14年度スポーツ振興事業補助金交付一覧表 当日配布資料 前回の会議録
会議内容	■ 会議内容の要点記録

<p>会長</p>	<p>定刻になったので第 21 回スポーツ振興審議会を開催する。        本日の会議は、内田委員、指田委員、柴山委員が欠席する。        まず、会議録の確認については、後ほど確認して頂いて何かあれば質問して頂くことで終わりにしたい。        資料の確認し先に進みたい。        先にスポーツ振興事業補助金の議題から入りたい。事務局より説明願いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料 19 スポーツ振興事業補助金交付要綱に基づき、市報掲載したところ 2 団体の申請があったので内容を審査し、下記の通り交付したく審議会へ提案し承認願うものである。        2 団体の内訳は、ソフトテニス連盟（個人）とバレーボール協会（団体）より宿泊費・交通費含め申請があった。        ソフトテニス連盟（個人）49,424 円、バレーボール連盟（団体）559,800 円、合計 609,224 円の申請に対し、予算額が 234,000 円であるので、予算額を按分しソフトテニス連盟（個人）19,000 円、バレーボール協会（団体）215,000 円の金額を交付したく提案する。</p>
<p>会長</p>	<p>対象の 50 パーセントが上限という考えもあるが、現状は予算総額を交付対象にしている。夏のスポーツ大会も早くもらえないのか。交付時期が遅いので援助にならないとの意見も一部の団体から言われているみたいである。</p>
<p>事務局</p>	<p>交付金の財源については、振興基金の益金を財源としているが、現状は一般財源で補填している状況である。1 年のうち一番最後になるので、夏のスポーツ大会も後清算になっている。このような状況も理解願いたい。</p>
<p>会長 会長</p>	<p>各委員より特に意見なく、承認あったものとして認める。        資料 18 の議題に入る。</p>
	<p>表題「西東京市スポーツ振興計画の策定について」        表題 スポーツで心がふれあうまちをめざしてー        配布資料に基づき説明する。5 頁までは、提案としたい。それ以降は、全体のイメージとして配布したものである。        審議して意見を頂くのは、4 頁迄である。3 頁までは、前回までの審議でいろいろ意見がありそれを直したものを提案したものである。是非審議、意見を頂きたい。今までの経過があるので今日は、5 頁までにしたい。        資料 18 を朗読する。        はじめに        第1章 市民生活の充実とスポーツ振興の意義          第1節 基本的な考え方            1 21 世紀に向けた西東京スポーツ振興ビジョン            2 スポーツ振興の意義            3 スポーツ振興の基本理念        第2章 市民スポーツの現状と課題          第1節 西東京市における中長期的かつ総合的課題            1 国のスポーツ基本計画における政策課題            2 西東京市における市民スポーツ活動の現状と課題            3 新たなスポーツクラブづくりのこころみ            4 対応への道は白紙からの出発で            5 「新しい酒は新しい皮袋に」の視点で</p>

	<p>第2節 緊急かつ重要な個別的課題について</p> <p>1 合併後の調整を要する緊急かつ重要な個別的課題</p> <p>(1) 学校施設団体開放のあり方</p> <p>(2) 夏季休業中における水泳教室の在り方</p> <p>(3) スポーツ振興における財団活用のあり方</p> <p>(4) 公共スポーツ施設における使用料等の統一かについて</p> <p>第3章 スポーツ振興に関わる推進体制の確立</p> <p>第1節 スポーツ振興行政の現状と課題</p> <p>第2節 行政と文化・スポーツ財団との連携</p> <p>第3節 行政と体育協会との役割分担</p> <p>第4節 公共施設相互間のネットワークシステムの構築</p> <p>第4章 西東京市におけるスポーツ振興の基本的方針</p> <p>第1節 現代的課題とスポーツ振興の視点</p> <p>第2節 西東京市におけるスポーツ振興の具体的方策</p> <p>第3節</p> <p>第4節 スポーツ情報・相談機能の整備充実</p> <p>第5節 健康・スポーツ医・科学の活用と連携</p> <p>おわりに</p> <p>(詳細は省略)</p>
<p>委員 会長 委員</p>	<p>大きな章の柱立てはこのようにやるのか 東京都の公文書規定に基づき作成している。 はじめにのところにについて聞きたい。</p>
<p>会長 副会長 事務局</p>	<p>今までの経過を全て入れたら良いのでは。新体育館の建て替え。1.2.3.4の項目については、どう言う意味なのか。2頁以降は、よく出来ている。形式的な文章整理については、起草委員会で検討したらと考えている。3月17日定例会で起草委員会を提案する。6月結審して答申してもらおう。諮問事項に基づき答申して頂く。その後については、スポーツ振興を掘り下げるとすれば次の審議会でお願したい。今回は、6月までの任期では、スポーツ振興全般を掘り下げることが出来ないと考えている。次の任期の委員に引き継ぐことになればよいと考えている。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>4頁の表現について、「新しい酒は～」この比喻で良いのか。 特段意味は、無いので起草委員会で直してもらえば良いと考えている。 提案者として、中途半端で起草委員会へは出したくない。4月までに全文作って4月の定例会で起草委員会を立ち上げる。5月の定例会を待たず最低1回は起草委員会を行ってほしい。4月に1回、5月に1回行い5月の定例会にかけてもらいたいと考えている。ただし、このままでやると起草委員会へは出せない。違ったものを再度出す。3つの諮問事項だけなら出来る。</p>
<p>事務局</p>	<p>日程の問題、構成の問題については、審議会で協議して頂きたい。 定例会で、議論された中でなおかつ会長の意向もあるので、最終的には起草委員会で議論して頂きたいと考えている。</p>
<p>会長 副会長 会長</p>	<p>4月の段階で素案が出来あがるので、その段階で起草委員会を立ち上げる。 本日の起草委員会の立ち上げは、取り下げる。 各委員でこの資料について意見があれば、3月中に意見を出してほしいそれを盛り込みたい。</p>

事務局	本日会長から提案があった前半の部分については、持ち帰って社会教育主事との調整、文書構成も含めて別途会長と相談させて頂きたい。 事務局の目で見えて我々が解らない部分、現状について教えてほしい。 会長と相談して行きたいと考えている。 答申の形は、決まっているのか。 特別定番は無い。見やすさ、解り易さ等で考えて頂きたい。 特に意見が無ければ本日は、閉会とする。
会長	
委員	
事務局 会長	